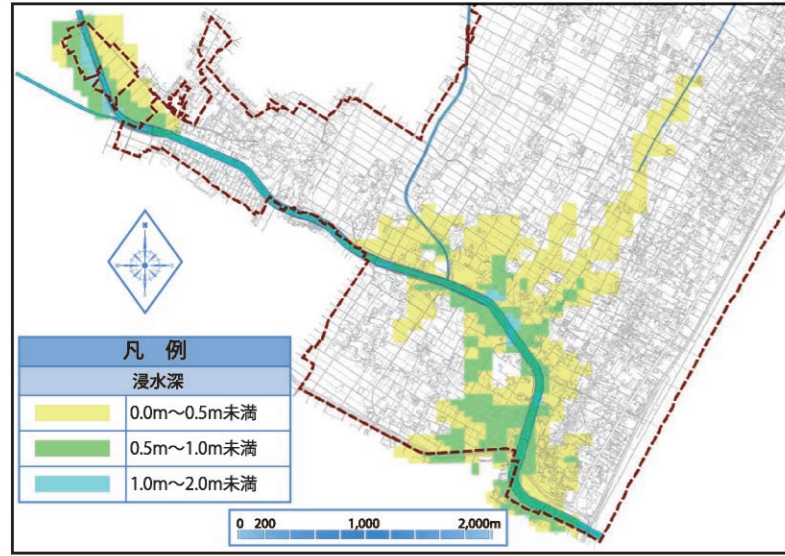
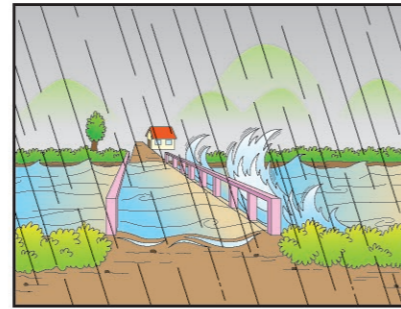


千葉県の水害想定区域図では、町内を流れる作田川については、町内での浸水は予想されていませんが、真亀川では、一部で2.0m未満の浸水が予想されている他、多くの範囲で1.0m未満の浸水が予想されています。



【予測条件】  
 対象規模：50年に1回程度発生する大雨  
 対象降雨：（真亀川）24時間雨量288mm  
 （作田川）24時間雨量287mm  
 ※支川の氾濫、内水による氾濫、高潮等に関しては考慮していない。



## 情報収集が大切

台風や大雨などは、事前に天気予報などで情報を得ることができる災害です。

台風や大雨などが迫っているときは、テレビやラジオ、インターネットなどで、情報を確認し、家の周辺をチェックするなど、早めの対応を心がけましょう。

## 雨量や河川水位情報の入手先

- 川の防災情報（国土交通省）  
<http://www.river.go.jp/>
- 千葉の雨量と河川水位情報（千葉県）  
<http://suibo.bousai.pref.chiba.lg.jp/>

## 注意報・警報の種類

特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動を！

大雨	注意報	大雨による災害の発生するおそれ
	警報	大雨による重大な災害の発生するおそれ
	特別警報	数十年に一度の降雨量となる大雨になるおそれ
洪水	注意報	河川が増水し災害の発生するおそれ
	警報	河川が増水し重大な災害の発生するおそれ
	(強風) 注意報	強風による災害の発生するおそれ
暴風	警報	暴風による重大な災害の発生するおそれ
	特別警報	数十年に一度の暴風が吹くおそれ

記録的短時間大雨情報	数年に一度しか発生しない短時間の大雨
竜巻注意情報	激しい突風に注意

その他、複数の注意報、警報等が気象状況により、発表されます。

## 雨と風の強さ

雨	やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のように降る	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感恐怖を感じる
	長く続くときは注意 1時間に 10~20mm	側溝や小さな川があふれる 1時間に 20~30mm	道路が川のようになる 1時間に 30~50mm	傘は全く役に立たなくなる 1時間に 50~80mm	厳重な警戒が必要 1時間に 80mm 以上
風	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風	
	風に向かって歩きにくくなる 樹木・電線が揺れ始める 傘がさせない 平均風速 10~15m/s	風に向かって歩けなくなる 電線が鳴り始める 雨戸やシャッターが揺れる 平均風速 15~20m/s	何かにつかまらなると立ってられない 飛来物により負傷するおそれがある 屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある 平均風速 20~30m/s	屋外での行動は危険 樹木が倒れる 走行中のトラックが横転する 平均風速 30m/s 以上	

## 危険が迫る前に、早めの避難

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。自宅や自宅周辺の状況、そのときの降雨や浸水状況などに応じて、危険が迫る前に早めに避難しましょう。

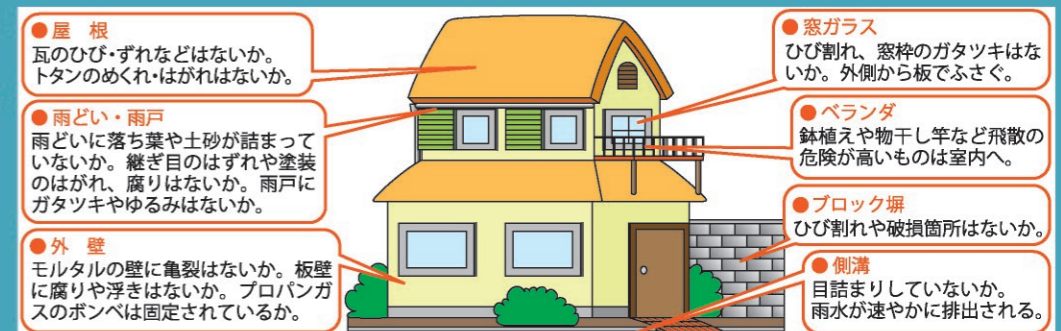
### ●風水害の避難のポイント

<b>動きやすい服装で</b> はだし、長靴は危険です。長靴は脱げやすく危険なので、紐で締められる運動靴で避難しましょう。	<b>足元に注意</b> 水面下では、マンホールのふたがあいていたり、側溝に気づかないことがあります。長い棒などで、安全確認しながら避難しましょう。	<b>避難は複数人で</b> 一人で行動するのは危険です。ご近所に声をかけてみんなで行動しましょう。特に子供からは目を離さないようにしましょう。	<b>深さに注意</b> 歩ける深さは50cmくらいまで、水深が深い場合は、無理に移動せず、自宅の2階など高い場所に垂直避難しましょう。
--	---	---	---



## 家屋の被害を抑える

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょう。



## 家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（なければ水のう）を設置することで、浸水防止に活用できます。



## 竜巻が迫ってきたら

- 屋内にいる場合  
**窓のそばは危険**  
 ⇒ 雨戸、シャッター、カーテンを閉める  
 ⇒ 窓や、ドア、外壁から離れる  
 ⇒ 中心部に近い窓の無い部屋に移動する  
 ⇒ 頑丈なものの陰に入って身を守る
- 屋外にいる場合  
**車庫やプレハブへの避難は危険**  
 ⇒ 頑丈な建物の中に避難  
 ⇒ 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせる



## 雷が迫ってきたら

- 周囲より高い場所に落ちやすい**  
グラウンドや砂浜などの開けた場所では人に落ちやすい
- 近くにある高い物をつたって落ちる傾向がある**  
木や電柱など高い物のそばは危険
- 雷鳴が聞こえたらすぐ避難する  
⇒ 建物の中や、自動車、バスなどの屋根のある乗り物に避難

